

まちの本との出会い

最近、マスメディアで個人が家の一部を開放し、仲間で蔵書を持ち寄り小さな私設図書館を開いている様子を見るようになりました。私たちのまちにも、本と人が出会う場所をつくり、本を通じた交流を目指し、活動している「きんじょの本棚」と「玉ちゃん図書室」があります。

私は、8月19日に「きんじょの本棚」に行きました。つばさ支店の本棚は、家のような形をしていたのが印象に残りました。また、本棚に透明な扉がついていて、雨が降っても本が濡れない工夫がすごかったです。雨が降ってしまうと、その度に本をしまったり、出したりするのが大変だと思うからです。私は、読売KoDoMo新聞で紹介されていて、読んでみたいと思っていた本があり、借りてみました。読んでみたい本が、たまたま本棚にあったので、嬉しかったです。皆さんも、ぜひ「きんじょの本棚」を利用して、気軽に本を手にとってみてください。

●ペンネーム：ハニー（小学6年生）

散歩していて「きんじょの本棚」のことを知りました。この本棚は、借りた所と返す所が違っていてもいいのです。遠い所で借りても、自分の家の近くの所に返せるので、気軽に利用できます。それと、色々な所で誰かが借りて違う所で返すと、その「きんじょの本棚」に色々な本が来るから、たくさん違う本を読むことができるのです。使い方をみんなに知ってもらって、たくさんの方がいっぱい読めるようになると良いと思います。

●ペンネーム：あじフライ（小学4年生）

8月2日（月）  
プレオープンしている  
「玉ちゃん図書室」の  
取材に行きました。

「玉ちゃん図書室」の玄関前は綺麗なお庭が広がっています。そして中は本棚が五つぐらいと、本を座って読むためのソファがありました。本には色々な種類があり絵本、小説、辞典、図鑑、実用書などでした。

また、本の背表紙には「玉ちゃん図書室」とラベルがついています。これは図書室で働いている人が「玉ちゃん図書室」というスタンプを作って一つ一つの本に流れ作業でつけていったのだそうです。

私は学校で図書委員をやっていますが本にラベルをつけたことがないので、たくさんの本にラベルをつけるのは大変そうだなと思いました。「玉ちゃん図書室」の取材を終えてここで提案があります。それはお庭を使うことです。綺麗で広いお庭があるのでコロナ禍で、室内ではできない読み聞かせをしたり、外で本を読めるコーナーを作ったら良いと思いました。

●ペンネーム：ニャンコ先生（小学6年生）

私は、「玉ちゃん図書室」のインタビューに参加しました。インタビューを聞いて一番びっくりした事は置いてある本が全部地域の方からの善意の本ということ。インタビューの時にいらなくなった本を寄付することが出来ると言っていたので私もいらなくなった本は捨てないで図書室に寄付しようと思いました。私が図書室を見ていて気になったことは、子ども向けの本が少ないということです。子どもコーナーに絵本はあったけど漫画や小説が多いと感じました。絵本をもっと増やすには寄付の呼び掛けをすると良いと思いました。

●ペンネーム：フェアリー（小学6年生）

私は、「玉ちゃん図書室」の人にお話を聞きました。私が一番びっくりした事は、元々空き家だったことです。どうしてかということ、最初見たときに、空き家だとは思わなかったからです。使われていなかったおうちを使うのはいいと思いました。お庭が広がったので、お庭で本の紹介のようなイベントをやったらいいと思います。そしたら、もっとお客さんが来るかもしれません。お話を聞いたり、折り紙の作品をみたりして良かったです。

●ペンネーム：きなこ（小学3年生）

「玉ちゃん図書室」は玉川学園地区社会福祉協議会がスペースを借りています。ここで私はふだんあまり本を読まない人でも、本を手にとって本に興味をもてるように「おすすめの本コーナー」をつくることを提案します。例えばおすすめしたい本を紙袋などに入れて見えないようにします。そして、袋に「おもしろい本」や「感動する本」などを入れ、袋の表に「1,2年生向け」と読んでほしい相手やその本に合っている内容を書きます。その紙袋を机など、図書室に来た人の目につきやすい所に置けば、本の題名だけではどのような内容なのかまた、どの本が自分の読みたい本なのかかわからなくても、袋に書いてあることを見て、気になって本を手取るきっかけになると思います。

●ペンネーム：ハニー（小学6年生）

「玉ちゃん図書室」の本の種類は「絵本」「漫画」「大人が読むような小説」がありました。子ども向けの小説がなかったので、あるといいなと思いました。他にも勉強になる図かんや知しきの本などがあると、宿題で自主学習が出た時に使えるのであると便利だと思いました。

●ペンネーム：あじフライ（小学4年生）

「玉ちゃん図書室」は学校の図書室のように、テーマごとに本が置かれているので、読みたい本が探しやすいです。「きんじょの本棚」のラベルが貼ってある本は、図書室に返さなくても、最寄りの「きんじょの本棚」支店に返すことができます。本棚は寄付されたそうです。本の寄付はこれからもお願いしたいとボランティアの方から聞きました。「玉ちゃん図書室」のように本を借りたり、みんなが気軽に立ち寄って交流できる場所がもっと増えれば良いと思いました。

「玉ちゃん図書室」のオープンが楽しみです。

●ペンネーム：Katze（小学6年生）

たま板

こどもの葉

写真で綴るーケヤキプロジェクト

たま板を写真を通してお伝えするコーナーです。



2017年 大樫枯死  
伐採主幹と根本の保管を市に依頼  
する（町内会）町田市リサイクル  
センターで乾燥保管



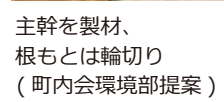
大樫 かつての雄姿（1930-2017）



保管中の輪切り



電動カンナ掛け



主幹を製材、  
根もとは輪切り  
（町内会環境部提案）



移動は大人4人がかり



2020年秋  
こどもたちとヤスリかけ



2020年秋  
こどもたちとワックスをぬる  
（町内会コミュニティ部協賛）



2021年5月  
新コミュニティセンター こども図書室  
【すわりんこ 時をこえて】  
研磨と補修 子供たちと前田忠一  
寄贈 玉川学園町内会

多くの人たちの力で次代のこどもたちへ  
大樫の年輪を残すことができた

この長椅子のどこかに  
2羽のフクロウがいます  
探しにきてください



2021年5月  
新コミュニティセンター B1階  
【ふれあう仲間達】  
文化的な心の交流に  
制作 前田忠一  
寄贈 玉川学園町内会

生まれ変わった大樫  
これからも地域に愛され続けてほしい

地域情報

青空はらっぱ美術展 2021

3丁目こども広場で、青空はらっぱ美術展を開催いたします。コロナ禍の折、閉じこもりがちですが、秋の天気の良い日に青空の下、広場散策を兼ねお楽しみください。

9月26日（日）～10月10日（日）  
午前9:00～午後5:00  
町田市玉川学園3丁目こども広場

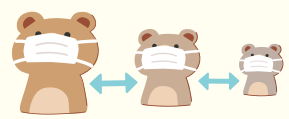


感染防止のため各作品には直接お手を触れないようお願いいたします。マスクは着用し、私語は極力お控えください。

発熱、体調の悪い方は  
ご来場をお控えください



ソーシャルディスタンスを



こまめな手指の消毒を

